

記入例

様

(系)

(表面)

児童手当 認定請求書

提出年月日 令和 6・9・30						※受付確認年月日 令和 ・ ・						
※認定・却下年月日						※支給開始年月 令和 年 月 分						
請 求 者	① (ふりがな) 氏名 (法人名等)	おおなん たろう 邑南 太郎			②性別 男・女	男		③生年月日	昭和・平成 50・9・1			
	④職業	ア. 被用者 イ. 公務員 ウ. 被用者等でない者			⑤配偶者	有・無		有				
	⑥住所 (法人の主たる 事務所の所在地)	〒696-0192 邑南町矢上1234			⑦個人番号	1月1日時点の住所 (1～5月分は前年、 6～12月分は本年)						
配 偶 者 等	⑧住所 (⑥と異なる場合)	〒 -			⑨所得 の状況	令和 年分所得額 (請求者) 円 (配偶者) 円		⑩所得 の状況				
	⑪ (ふりがな) 氏名	おおなん はなこ 邑南 花子			⑫生年月日	昭和・平成 51・12・3		⑬請求者の控除対象配 偶者または同一生計配 偶者の場合に○印		⑭個人 番号		
	⑬職業	ア. 被用者 イ. 公務員 (勤務先:) ウ. 被用者等でない者			⑮には、児童手当の請求者が生計費を負担している大学生年代の子(平成14年4月2日から平成18年4月1日生まれ)について記入してください。 ⑯と⑰の合計人数が3人以上で、⑯の監護相当・生計費負担の両方が「有」の場合、「監護相当・生計費の負担についての確認書」も提出してください。 監護相当: 監護に相当する日常生活上の世話及び必要な保護をいいます。 生計費負担: 父母等がその子の日常生活にかかる費用(生活費、食費、学費など)を負担しており、これを欠くと現状の生活を維持することができない場合をいいます。 ※児童の兄弟等が別居している場合、「別居監護申立書」の提出は不要です。							
⑯児童の兄弟等 (18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者)	氏名	続柄	生年月日	監護相当の有無	生計費負担の有無	同居・別居の別	海外留学をしている場合の出国年月					
	邑南 一郎	子	平成 14・4・2	有・無	有・無	同・別	令和 年 月					
	邑南 二郎	子	平成 17・8・27	有・無	有・無	同・別	令和 年 月					
⑰児童	氏名	続柄	生年月日	監護の有無	生計関係	同居・別居の別	海外留学をしている場合の出国年月					
	邑南 三郎	子	平成 18・6・2	有・無	同一維持	同・別	令和 年 月	松江市殿町1				
	⑱には、養育する、18歳に達する日以降の最初の年度末までの間にある全ての子について記入してください。 監護: 児童の生活について、請求者が監督・保護を行うことをいいます。「無」の場合は手当が受給できませんので、ご注意ください。 生計関係: 請求者が児童の実父母ならば「同一」、実父母でない場合は「維持」に○をつけてください。											
⑲支払希望 金融機関	名称	預金種別	支店コード	支店名	口座番号	口座名義						
	銀行 金庫 信組 農協 漁協	普通・当座										
	⑳には、児童手当受給者の口座情報をご記入ください。											

◎ 裏面の注意をよく読んでから記入してください。 ※印の欄は、記入しないでください。字は、楷書(かいしょ)ではっきり書いてください。

